飯田市竜丘公民館報
発行人 木下 右治
編集人 編集 〃
印刷所 信州印刷

山麓開発を計り度い
部落根性を捨ててほしい
＝松井市長部員会見で語る＝

松井市長

新飯田市長選挙も無競争で去る十月二十八日に前市長松井卓治氏が当選と決定した。初登庁以来日も浅い十一月二日 市内各公民館編集部々員は早速市長に面会、今後の市政運営上の問題点について市長の抱負を聞かせていただいた。【写真は松井市長】

○職員給に差があるか

これはやはり不自然な形で、町村合併促進協議会でも重要な問題としてとりあげたが、来年三月までこのまゝで行き、それ以後は適当な線でそろえたい。

○中学校整備について

教育に関する限り優先的に仕事を進めなければならない。合併前に各地区で計画されたことも、新市として全般的な立場から新らしくこれを検討しなくてはならない。これは勿論教育委員会の構想とにらみ合せて善処したいと思う。松尾地区の中学校も五ケ年計画どおり三十二年度に着工したいと思います。

○工業高校の建設について

これは一市十九ケ村の組合立学校ですから、合併村の中には入っていない村もある。御承知の通りこの学校は岡谷工高分校であったのを、本年飯田工業高校として独立しましたので是非とも本年着工し、来年度には立派な学校を完成しなければならないと思う。敷地の問題であるが、私が旧市長就任以来城山に候補地を定めたのですが、城山は公園に指定されている関係上、用途変更をしなければならないので非常に努力して来たのですが、この許可は近いうちにもらえるものと思う。こゝまで来るには旧飯田市がかなり多くの負担をしている。建設費は敷地別で、五千数百万円を予定している。合併にからんで敷地は松尾地区にと云う話が出ているが、私としてもあくまで城山にこだわるわけではなく、地元で敷地を用意し、組合村全部と、旧市民の感情と、市議会が賛成すればよいと思う。すべて大乗的にみていいと思うところへ建てたい。いずれにしても起債の関係から三十一年度中に着工しなくてはならない。経費もなるべく少なくするように、例えば浜井場小学校が老朽化しているからそれをこわして利用すれば安くあがるのではないかなどと考えています。

○南部中学の場所はどこに計画しているか

五ケ年計画にはあるが場所は未だ決めていない。それに就ては川路村等合併した後に於て適当な地鐏に建てたいと思う。必要とあればスクールバスも考えたい。

○社会教育について

公民館活動に大いに期待している。予算などの面も考慮して社会教育を助長したい。できる限り中央からよい講師を招いて講演会等も度々開きたい。

○交通土木事業などについて

田園都市の形態は母都市を置いてその周辺に衛星都市を置くのが理想的な形であると思う。例えば元善光寺、時又、中村等のごときをいうのであるが、従って母都市と衛星都市等と結ぶ道路が必要となる。衛星都市を繁栄させるには住宅を建設することが必要だ。住宅建設をすることによって、商店街が発展すると思う。住宅建設については旧飯田市が年間五十戸位づつであったが、今後は百戸位にしたい。衛星都市には五戸から十戸位づつ割当てゆきたい。なんとしても地元の協力が最大であるから受益者はそれ相当の熱意をみせてほしい。尚これらの問題は、都市計画の線に沿ってより大きな立場で考えてゆきたい。

○新庁舎の建設

○助役の二人制について

助役は私としては一人制の方がよいと思う。

○支所の三役の扱いについて

来年三月まで暫定的に現状のままでゆく。現在支所から本庁へ十八人来ているが、将来新庁舎が出来ればほとんどの職員がそこへ来るので支所の機能は少くなる。従って支所長の権限も無くなるのではないか。

○部制を敷くことについて

現在でも旧市に水道部を置いてあるが、これについては将来自治法の改正に則って、総務、社会、産業、建設等の部制に就ても考慮したい。

○不均一課税について

財産区の設置は市制運営の上で癌とはならないか。

不均一課税は一町五ケ村合併案が出された時から合併促進をするため出されたものであり、今度の合併にも、取り上げられたのである。これは合併法にも三ケ年間は認められているのですが望ましい事ではないので、市民の皆さんの自覚をまって早く調整していきたい。不均一課税で不均一事業をすると云うことは考えられないが実際には問題になると思う。財産区については現在これがある消費的経費を節減するには矢張り職員を統合して事務能率を上げる事が必要だ。建設には一時金がかかるが、それ以上のサービスを計るように早急に着手したい。

○商工業の発展策について

旧飯田市では五百万円を工場誘致費にとってあったが、最大の悩みは土地がなかったが、合併によってその点が解決されたので積極的に進めたい。県の方針としても精密工業、例えばベアリング、電子工業等の誘致をとりあげて居りますので、この方針にじゅんじてあらゆる方面へ手を廻している。既存の工業についても協力して行きたい。更に新市の立地条件に適合した特殊農産物の生産を挙げ、これと加工工場とを完全に結びつけて新たな産業振興をはかって行きたい。

○農業振興について

今後の農業生産をあげるためには平坦地はすでに限界に達しているので未開拓地、傾斜地利用の方法を計らなくてはならない。そのために現在信大教授団に依頼して山麓開発の調査をしている。その他農業の生産をあげるための総合的な研究機関を設けたいと思っている。

○鼎、上郷等の合併について

もとより鼎、上郷、市田、山吹川路が入っていただかなくては完全な田園都市計画にはならないので積極的に努力したい。

○市長の希望

新市建設のためには、部落意識があってはならない。皆が早くその意識を捨てて新市民になっていただき度い。合併してよかったという感情を市民が持つためには、経済の基礎を確立したい。地道にじっくり構えて百年の計をたてたいその為には、消費的経費を節約し投資経費をかけてゆく事が健全であると思う。消費的経費を節約するためには、皆様の協力と自覚を持っていただくことが大切である。

説論 文化祭について

今回の文化祭は「竜丘村を送る文化祭」と銘をうつことにした。わが竜丘村は明治二十二年町村制が施行された時、竜丘村と命名して発足して以来、六十有余年を経て今日に至った。

この長い歴史と輝しい伝統を持つた竜丘村は、新飯田市誕生によって発展的に解消した。いたづらに懐古の感傷に浸るのではないがわれらを生みわれ等を育てて来た竜丘村を回顧した時、そぞろに感慨深いものがあるのである。

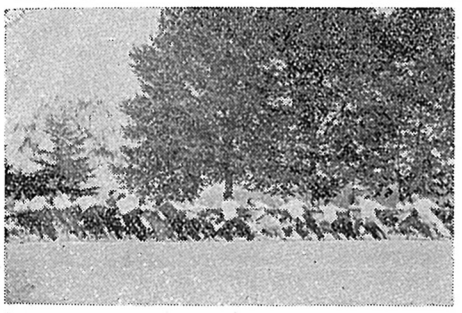
よって今回の文化祭を「竜丘村を送る文化祭」とし、文化祭の初日において「竜丘村を送る会」を開催することにした。

この会の趣意は、われ等村民が挙って一堂に会し、過去の竜丘村を語り合い、祝福し合い、ここまで竜丘村を建設して来た故人をしのび、故人に感謝の意を表することである。

こうして過去を清算してこそ、新しい出発が出来るのである。われ〳〵は最早古い竜丘村民ではない。新時代の要求に応じて建設した大自治体、即ち前途洋々たる大飯田市民なのである。この大飯田市を建全に育成し得るか否かはわれ〳〵市民一人々々の自覚と意慾にかかっている。

われ〳〵は、この竜丘村を送る会」において、いさぎよく竜丘村を清算し、ここに新飯田市民としての自覚を高揚しようではないか。（木下）

盛大に地区運動会終る


【写真は各区対抗の綱引き】

合併後初の地区運動会が公民館の主催に依り去る十月七日に挙行された。

同日は幸い好天に恵まれ早朝より市民がつめかけ各区対抗の競技に我を忘れての応援を示し又、娯楽競技に参加するなど楽しい一日だった。

飯田市長 松井卓治

今回不肖私が七万市民皆様方の御支持により再び飯田市長に就任いたすことになりました。もとより浅学非才にして自ら顧みてその任に適しないことを、おそれるものでありますがひと度就任いたしました以上一身をかえりみず真に市民の皆様の公僕として皆様のための市政を執行して参り度いと覚悟いたして居るもので御座居ます

この度一市七ケ村の合併が出来ましたことは関係市村の住民各位の絶大なる御理解と御協力によるもので御座居まして深く感謝いたし厚く御礼を申述べる次第でございます。さて茲に一市七ケ村が合併して、新しい田園都市として出発をした訳でございますが新市の発足に当り先ず考えられることは新市民全体の精神的結束即ち「人の和」と新市の経済的基礎の確立なくしては今後の発展は期し得ないと云うことであります。

人の和につきましては交通通信網を拡充整備して意志の疎通を図ると共に特に各地区の公民館等の活動により一日も速かに精神的結束が得られる様期待いたすものであります。又経済的基礎の確立については市財政の立場からは消費的経費を節約し、投資的経費の増大を図ると共に、工場誘致、農山村の開発及び農業生産性の増大等により、従来の消費都市的性格を一変して生産都市的性格に転換せしめることにより漸次経済力の増大を図りたいと考えます。

いずれに致しましても右の如き施策を行いますためには、私はじめ為政の立場に立つ者の協力は勿論必要でありますが同時に市民の皆様の絶大なる御理解と御支援なくてはかなわないことであります。何卒右の趣を御賢察の上、心からなる御協力と御鞭撻の程をお願いいたして私の御挨拶といたします。

市議会議長 代田源六郎

大田園都市建設の理想の下に一市七ケ村が合併を遂げて、茲に新飯田市が発足出来ました事は、国策に添う所の週期的事業であって御同慶至極と申す可く誠に欣快に堪えません。之は偏に関係各自治体の当局、議会及びの雄都の建設に微力を致し度く決意を新にする次第であります。下伊那地域の中央部の大半を占めるのであって、茲に謹んで深甚なる敬意を表する次第であります。

御承知の通り現在の段階では一応形式上の合併であって内容の整備等は殆んど総てが将来にあると申す可きであります。今後私共は市の地域を整えると共に山積せる諸問題を逐次解決して内容の充実をはかり、名実共に完備した南信諸都市の地域を整えると共に山積せる諸問題を逐次解決して内容の充実をはかり、名実共に完備した南信伊那地域の中央部の大半を占めるであります。しかしひと度選任せられました以上誠意を尽して事に当り、市民の皆様の御期待にこたえるべく努力いたす覚悟でございます。

戦後十一年余を経過いたしまして、この間経済的には或程度の安定を見るに至り、人心も一応の落着を示してまいりましたが、教育の面では一つの転換期に遭遇しつつあるように思われます。

学校教育関係においては、六三制教育の再検討、及び去る六月の参議院における乱斗により端的に示されました新教育委員会法への批判をはじめとして、地方財政再建整備法の適用、児童、生徒数の自然減による教員の定数の問題、及び教科書問題等幾多困難な問題が山積いたしております。

社会教育関係においても、通信報道機関の発達進歩にともなう、マスコミュニケーションの問題、又は都市と、農山村との間、及び、産業構造の異なる社会間の経済的落差の問題等と今後の公民館活動との関係等色々と考えねばならない問題が多いと思われます。

この様な客観情勢のもとで教育の問題をおし進めて参りますためには関係各機関の方々の御協力と市民の皆さんの深い御理解とによらなければならないものと思います。なにとぞ私を御指導御鞭撻下さらんことを切にお願いいたし新任の御挨拶といたします。

飯田市教育長 松沢太郎

今回はからずも不肖私が新飯田市の教育長に選任せられましたが私は過去において教育行政にたづさわった経験もなく、よくその任に耐え得るかどうかを心中ひそかにおそれている次第であります。今後更に皆様の御協力と御支援を御願致す次第であります。

戸籍の窓

◇十月分

【出生】

子の氏名	性別	父の名	大字名
鈴木美ち子	女	三石 光男	駄科より泰阜村へ
熊谷 晃	男	田貝婦さ江	長野原上郷村より
木下 紀子	女	小沢 和広	時又より下条村
篠田 利子	女	幸三	上川路
下井田稔彦	男	茂	長野原
鈴木 英男	男	肇	駄科
高島ふき子	女	秀一	桐林
牧内 恵子	女	啓	上川路

【婚姻】

【死亡】

氏名	性別	年令	大字名
今村治平	男	七〇才	上川路

民生委員の改選
八名の候補を県へ推薦

現在の民生委員は十一月三十日で任期が満了（三ケ年）するため、飯田市民生委員推薦会で十一月二日左の諸氏を次期民生委員候補者として、県へ推薦することに決定した。尚民生委員の辞令は十二月一日付で厚生大臣より発令の予定

橋本玄進　斉藤 喜八
下平晴雄　吉沢さかえ
中平 要　代田 きそ
今村尚司　中田今朝子

市議会常任委員会の構成決る

（委員は龍丘地区議員のみ掲載）

飯田市議会では此の程常任委員会の正副委員長を決定、委員の所属を次の如く決めた。尚議長には代田源六郎、副議長に伊藤清の両氏に決定されている。

○総務部

委員長　木下 章雄（松尾）
副　近松 宗一（飯田）
〃　前島 秀夫（竜丘）
委員　原 登、長沼保治、林正司

○社会部

委員長　児島 栄次（飯田）
副　久保田安美（三穂）
〃　宮内 昇（下久堅）
委員　中平恒三郎、下田嵓、原光人

○産業部

委員長　田中 伝（山本）
副　宮下 鋼六（飯田）
〃　宮川藤次郎（下久堅）
委員　下平広志、吉川正三、松村新八、塚平睦雄

○建設部

委員長　辻 虎松（飯田）
副　竹内 兵次（座光寺）
〃　伊原 悦雄（竜丘）
委員　今村恵一、沖田武一、下平勲資

教育委員決る

新飯田市の教育行政を担当する教育委員は左の如くである。

委員長　上松 貞夫（飯田）
副委員長　佐々木武人（松尾）
教育長　松沢 太郎（飯田）
委員　増田 郁雄（山本）
〃　藤本 正平（座光寺）
準委員　片山 卓（伊賀良）
〃　北沢小太郎（竜丘）
〃　宮内 九良（下久堅）
〃　林 太郎（三穂）

小林和三氏 巣鴨より出所

終戦以来長い間戦犯として巣鴨に拘留されて居た、小林和三氏が十月二十四日釈放され出所しました。本人より伺れ時期を見て御挨拶に帰郷するが、勤め先等の都合で左記に住居するため、戦犯釈放運動等御世話になった郷里の皆様によろしくとの便りが、竜丘支所長宛にありました。

神奈川県中郡伊勢原町沼目
坂間儀之助方 小林和三

★……十一月二十三、二十四、二十五日に開催……★

龍丘村を送る文化祭

＝各種展示・演劇等を計画＝

町村合併にともない、すでに龍丘村という名の自治体は解かれ新飯田市として発足したわけであるが、公民館では恒例の文化祭を特に本年は「龍丘村を送る」の意味を含めて盛大に十一月二十三日より二十五日まで開催する事になった。

行事の上では「龍丘村を送るの会」を計画、展示の面では農芸品評会にその主眼が置かれている。

尚青年会では演劇発表会が本年で三回目に当り、充実した内容と自信をもって今最後の練習に励んでいる。

行事展示一覧

一、行事

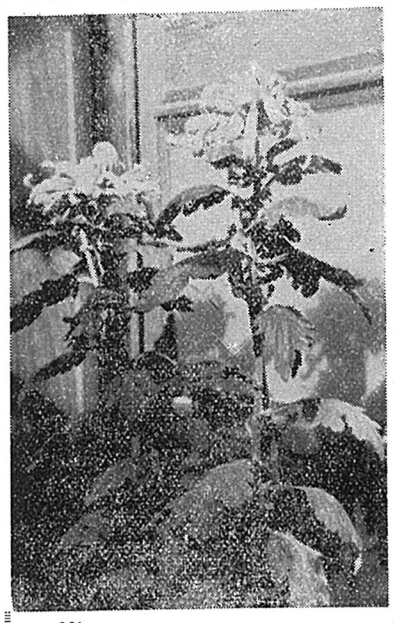
① 龍丘村を送るの会
② 青年演劇発表会
③ 映画とスライドの映写

二、展示会

① 農芸品評会展と農機具展
② 学校兒童生徒作品展
③ 古墳の出土品展
④ 四Hの研究展
⑤ 人形（相林蔵）展
⑥ 写眞展
⑦ 村内作家の作品展
⑧ 花展

日程

日	午前	午後
23（金）	◎準備	◎開館（一時） ◎竜丘村を送る会
24（土）	◎開館九時 ◎スライド映写	◎スライド映写 ◎青年演劇発表会（四時より）
25（日）	◎開館九時 ◎スライド映写	◎閉館（一時） ◎映画（七時より）



〝菊〟　時又区の今村歯医者さんのお嬢さん今村みち子さん（中学三年生）が最近撮した作品である。

「竜丘村を送るの会」

一、日時　二十三日午後一時
二、会場　小学校講堂
三、式次第
1、開会の辞　公民館長
2、挨拶　旧村長
3、竜丘村を語る　二、三名
4、余興　竹村浪の人氏の講談を予定
5、祝宴　祝酒を呈上、但し肴一重（手軽なもの）御持参下さい
6、万才
7、閉会

◎どなたでも結構ですから一人でも多く御参加下さる様お願いします。

お汁粉の接待について

竜丘村を送るの意義を滲透させるため全戸に汁粉の招待券を一枚宛配布いたしますから、文化祭の三日間のうちにお出かけ下さい。

農芸品評会要綱

一、日程

1 期日　十一月二十三日～二十五日の三日間
2 受付　二十三日午前八時より九時まで。
3 場所　小学校北館二階教室入口東より三室使用
4 審査　二十三日午前十時より十二時まで。
5 一般参観　二十三日午後より二十五日午前中まで。
6 返品　二十五日午後一時より午後二時まで。
◎備考　日曜日の一般入場者に対する様手配して下さい。返品について時間内に受領なき場合は学校給食の方へ寄附致し度いと思いますので御了承下さい。

二、係員　省略

三、審査

品評会の審査は左記委員会に依り行う。

1 審査委員長　農業委員会長　下平　広志
2 審査委員　池田、清水、幸森、池戸の各技師、食糧事務所、下平一、今村長穂、下平重人

四、入賞及表彰

入賞は個人賞と団体賞とし、入賞は左記により表彰する。

1 個人賞
審査は比較審査の結果に依り一、二、三等賞を附しそれぞれ賞品を授与する。
一等手拭二本、二等手拭二本、三等手拭一本。
2 団体賞
団体賞は各部落組合の出品点数と入賞点数により順位を決定、一位より五位迄に等級を附し賞状及賞金を授与する。
㈠ 団体賞審査基準
イ、出品割　部落組合内全戸出品以上の出品点数の場合五十点とし戸数以下の場合は率により減点する。
ロ、入賞割　入賞一品目につき十点。
㈡ 表彰
前記イロの合計点数の多い組合より順位を附し賞状及左記賞金を授与する。
一等千円、二等八百円、三等五百円、四等三百円、五等二百円
㈢ 賞品の授与
イ、入賞通知　十一月二十四日
ロ、賞品授与
個人賞、団体賞とも十一月二十五日午後二時より品評会の場に於て行う。個人賞は各部落組合一括で代表者が受領する。

五、その他

農機具展示（作中、農機具展示会を開催する予定。

青年演劇発表会

この演劇発表会が今年で三回目を迎えるわけである。そうした今日、青年会は日常生活から演劇活動を離したくないと云う熱心さから、日夜その練習に余念がない。

質的、技術的な面はともかくとしても、会員全員が一つの演劇に集中協力し研究して行くところに大きな意義があると思う。

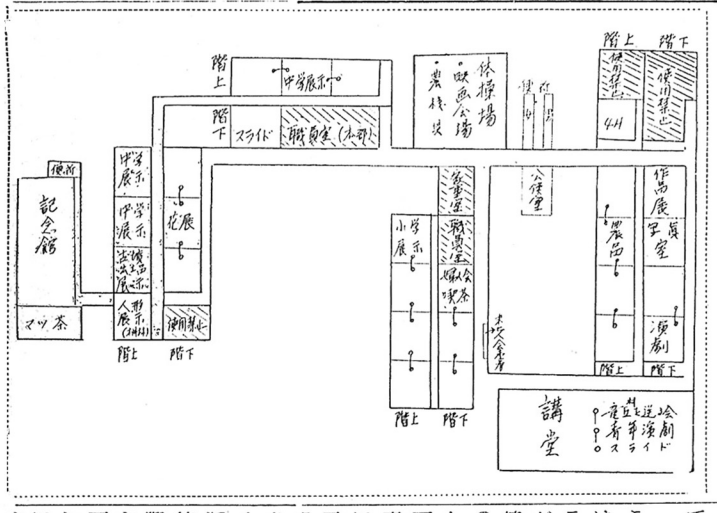
しかしこうした研究も社会の演劇に対する理解ある結果であることを青年自身見逃せない事実であろう。それだけに意義あることを期待することが出来る。財政的に苦しい青年会はこの演劇を催す費用の捻出に苦心し、映画等により資金を獲得しているが、これが住みよい社会を築くために役立てば幸せな事である。

プログラム

【劇】
日本の河童　伊藤定助作　上川路支会
国境の夜　秋田雨雀作　駄科支会
月は昇りぬ　小山祐士作、時又支会
瓜子姫とアマンジャク　木下順二作　長野原支会
祝い日　木内文英作　桐林支会

【舞踊】
新庄節　時又支会
原爆許すまじ　桐林支会
ソーラン節　駄科支会
真白き富士の嶺　桐林支会
世界の青春　駄科支会
ひえつき節　上川路支会
庄内おばこ　時又支会

会場一覧図



隨想リレー

（第二十四回）　次回のバトンを塚平善一氏に渡す

龍丘の秋風よどこへ行く

林主計

私は狙われて隨想リレーのバトンを受取って了った。さてこれは何かの間違いではなかろうかと、生来人一倍の筆不精である老生の事であるから原稿の締切りを気に病んだり果ては指名者がうらめしくなったりします。

はだか隨筆や、匙かげんなどの隨筆ものでベストテンに入り一躍成金になった先輩御人もいますがこちらは開業四十年只一筋に虫歯をつゝきまわして来た田舎の老歯科医、患者のカルテ以外ペンをとった事のないと云う弘法様の鬼子ですからいけません。

今から四十年前の竜丘時又と云えば何んと云っても遠州街道筋では飯田に次ぐ繁華街で勇ましいラッパを吹いて勢よく走る箱馬車が飯田を往復していましたし、金持ちや、急を要する病人などほあの風流な人力車を備って走らしたものです。かように時又は陸路の要所であったばかりでなく水路天竜川唯一の舟港でありました。丸に十の字ではありませんが丸船と云う船会社がありまして、こゝから遠く満島浜松方面に旅客と貨物を共積みにした木造船が幾艘となく運行されて港町時又はまことに活況を呈していました。時又には彼の英国コンノート殿下の如き国際的貴賓がこゝから舟下りなどされて今は世に出た天竜峡一帯を天下の観光地たらしめる先駆をなしたものであります。私はこの港町に開業してから四十年想い出はつきません。

しおんの咲く頃

母より子へ

しばらく御無沙汰しましたが元気で稲刈につづいて芋掘り、麦蒔きと忙しい毎日を送っております。

もう早いもので就職のため家をはなれて半歳以上になりますね。あの時はまだ桜もかたいつぼみだったのに、夏もすぎ今はもう秋も深くなって、しおんの花が今日の秋雨にぬれて重く頭をたれております。しおんの花と云えばお前も知っているでしょう。毎年前の池の端に咲く花……わたしはこの花が大好きですよ。何かの本にあった様な気がするのだけれど漢字で書くと恩返と書くのだってね。忘れていた遠くに住む人を思い出す様な、しんみりと物を思う秋に丈高く、うすむらさきに咲く花なので愚蓮と名づけたのではないかと思います。此の花を見ると不思議にお前達のことを思い出すのですよ。

病気をせぬ様に、お仕事には熱心であるようにと、お前がきけばおかしい様なこと迄、次々と思い出して願うのですよ。物になれるとかく横着になり勝ちのものですよ。初めの入社の日を忘れないで明るい新鮮な毎日を送るように心掛けて下さい。

昨日も今日も雨降りで折角の農繁休みも外の事が出来ないので、二人の弟達は勉強にもあきて今一生懸命に囲碁をやっておる最中です。お正月兄さんが帰ったら対局するのだと云ってね。四年の弟もどうやらすじを覚えたようです。

そう〜この間S市の秩父様が広島へ行かれた帰りに寄って下さいました。とてもお元気そうでした。お前にもよろしくと云っていましたっけ。ひまがあったらお便り出しなさい。もう承知でしょうがいよ〜町村合併で龍丘村は終り飯田市になり歴史は大きく変ったのです。そのように時代の流れは休むひまなく進んで行くことでしょうね。それにおくれないように若いお前達はすべてに勉強をおこたらないで下さい。

明日はどうやらお天気になりそうです。雨降りが二日もつゞくと青い空が恋しくなりますね。青空の下で働くことはやっぱり一番たのしみのことです。

では体にくれ〜も気をつけて風邪など引かない様にね、ひまがあったら近況をお知らせ下さい。家中で待っております。

我が子へ　母より

編輯後記

○本号をもって今年度の発行を終了いたします。各面よりの御支援を感謝いたします。何等御期待にも添いえなかった点を深くお詫び申します

○来年度に於ては編集部も市内各公民館と相提携し、より充実した新聞が作られるはず、旧倍の御協力を願ってやみません。

郵便局だより

○お年玉つき葉書の発売について今年から予約を止め、自由販売になったので売り切れないうちに局か、左記の売さばき所で買求めて下さい。時又岡島正志、桐林塩沢賢三、上川路清水肇、駄科上松次夫、長ノ原農協本所。

○年賀状、小包はお早く年末の忙しい時期に一度に賀状や小包を出されますと混雑しますので、賀状は十二月二十五日、小包は二十日頃までにお出し下さい。

○電話をおかけになる時は必ず番号でお申込み下さい。